

国立大学における「卒業生サービス」の実施状況調査アンケート

報告書

平成 22 年 7 月 22 日

実施・集計： 岩手大学 准教授（評価室） 大川 一毅
 岩手県立大学 総合政策学部 准教授 西出 順郎
 山形大学 評価分析室 准教授 山下 泰弘

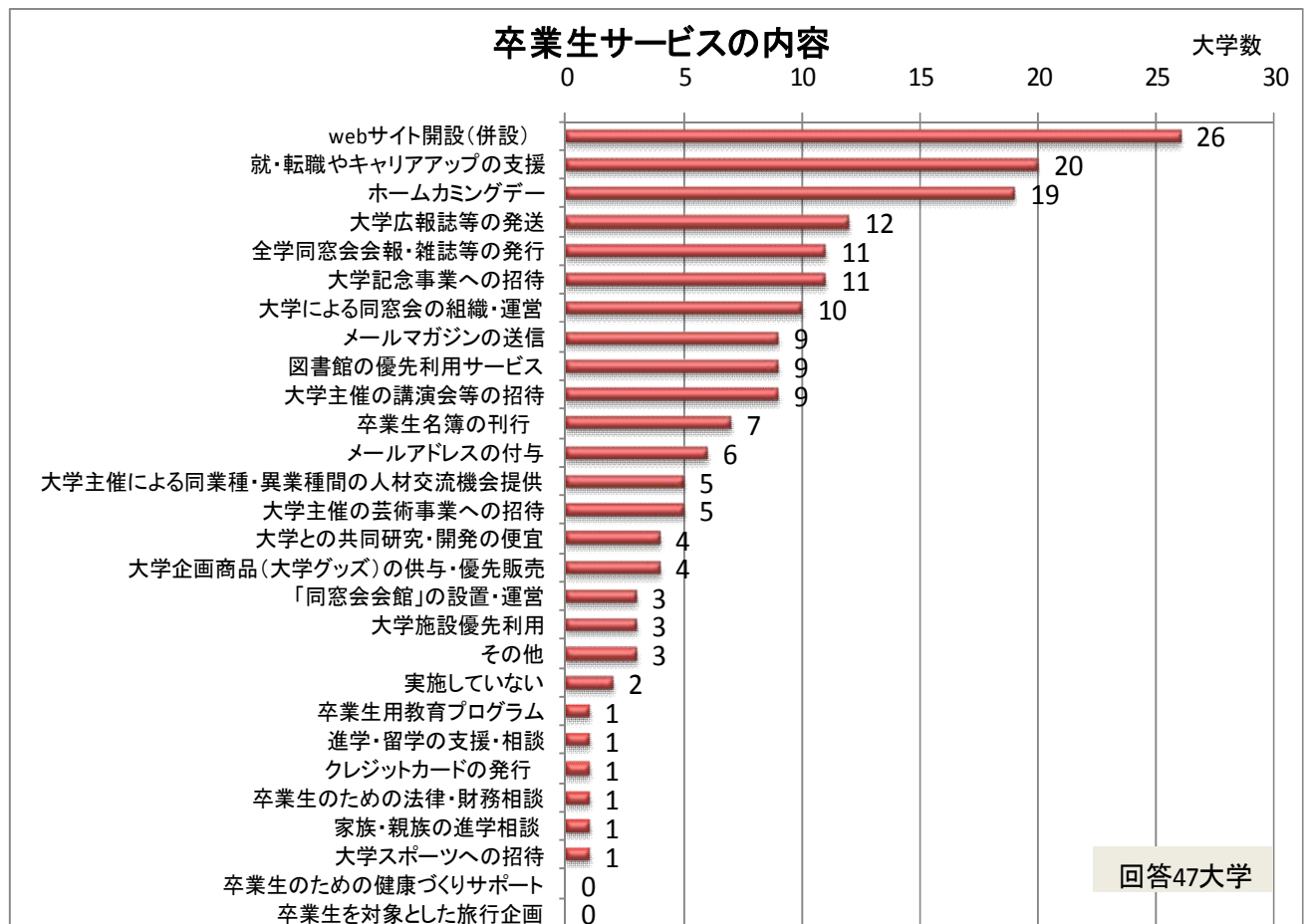
報告にあたって

- ・本アンケートは、平成 22 年 3 月に全国の国立 86 大学様に協力依頼し、6 月現在で 48 大学様よりご回答をいただきました。ご協力に心から御礼申し上げます。
- ・本アンケートにあたり、「卒業生サービス」について「有償・無償は問わず、卒業生（前身校や大学院修了者等も含む）を対象として大学単位で組織的に実施する様々な便益提供」と暫定的に提示いたしました（設問 1 をご参照下さい）。成績証明、卒業証明、推薦状といった各種証明書の発行などの「通常学務に関わる業務」は除外しております。

I 「卒業生サービス」の実施状況について

設問 1 下記項目のなかで、貴学で実施している「卒業生サービス」があれば、それをお答え下さい。

（複数回答可）



★ 回答 47 国立大学中、45 大学で何らかの「卒業生サービス」を実施。

上位回答内容

- ・「卒業生のための web サイトの開設」(26 大学：回答比率 55%)
- ・「就・転職やキャリアアップの支援」(20 大学：回答比率 43%)
- ・「ホームカミングデーの開催」(19 大学：回答比率 40%)

★ 卒業者を対象とした「就職・転職やキャリアアップの支援」が広まっている。

「就職・転職やキャリアアップの支援」の具体的回答事例

- ・新規卒業者（就職未決定者）への就職支援
- ・既卒者のための就職支援や就職指導室（キャリア室）の開放
- ・医療従事者に対するキャリアアップ支援
- ・教育大学（または教員養成学部）における教員スキルアップ支援
- ・教員免許更新講習優先受付 など

★ インターネットや広報誌発送等による「卒業生を対象とした大学情報提供」も多くの大学で実施。

★ 「卒業生サービス」として「人的ネットワーク構築の機会提供」を図る大学も多い。

★ ホームカミングデーをはじめ、大学主催の行事や芸術活動の案内・情報提供も積極的に実施。

★ 大学の知的資産や施設・設備を活用した「卒業者向け教育プログラム」や「生活の質の向上のためのサービス」、「健康・娯楽領域におけるサービスの提供」等は現状のところ少ない。

※ 卒業生のための「教育プログラム」を用意・実施する大学は1大学。

★ 回答数は少なかったが、「クレジットカードの発行」、「家族親族のための進学相談」、「大学スポーツへの招待」といった私学並みのサービスも実施されていた。

「卒業生サービス」の事例紹介（回答記述引用）

（千葉大学）

千葉大学卒業生室では、校友会担当の理事を室長に置き、本学卒業生（修了生）に対し、本学の情報発信を積極的かつ効果的に推進することを目的に活動しており、大学祭においては昨年に引き続き、「卒業生サロン」を設置し、大学・在学生と交流の場を設けた。

また、メール配信ソフトを利用し、卒業生に向けて「絆ニュース」と題し、大学の情報、イベント紹介等をメールマガジンとして現在、約 3,600 名の卒業生に随時配信している。さらには、卒業生室の業務の一環として、経済産業界及びその関連分野で活躍されている本学卒業生（修了生）を対象に「千葉大学経済人倶楽部 絆」を設立し、学部・学科・卒業年度を越えた卒業生同士のネットワークを構築することを目的に現在 124 名の会員で活動している。より会員相互のコミュニケーションの拡大を図るため、経済人倶楽部のホームページも完成に至った。

（教育系単科大学）

卒業生・修了生の 85%弱が学校教員であるという実態に合致させ、教育研究に対する支援、また web 機能や機関紙で教育情報を提供するなど、教育現場の実践に資するサービスを主眼にしている。

「卒業生サービス」の事例紹介 2

(理科系大学院大学)

学生の受け入れから修学・学生生活、将来設計の形成、さらに、修了後のキャリアアップの支援を行う。また、修了生に、最先端の研究動向を学ぶ機会を提供するなど、修了生のキャリアアップに取り組む。

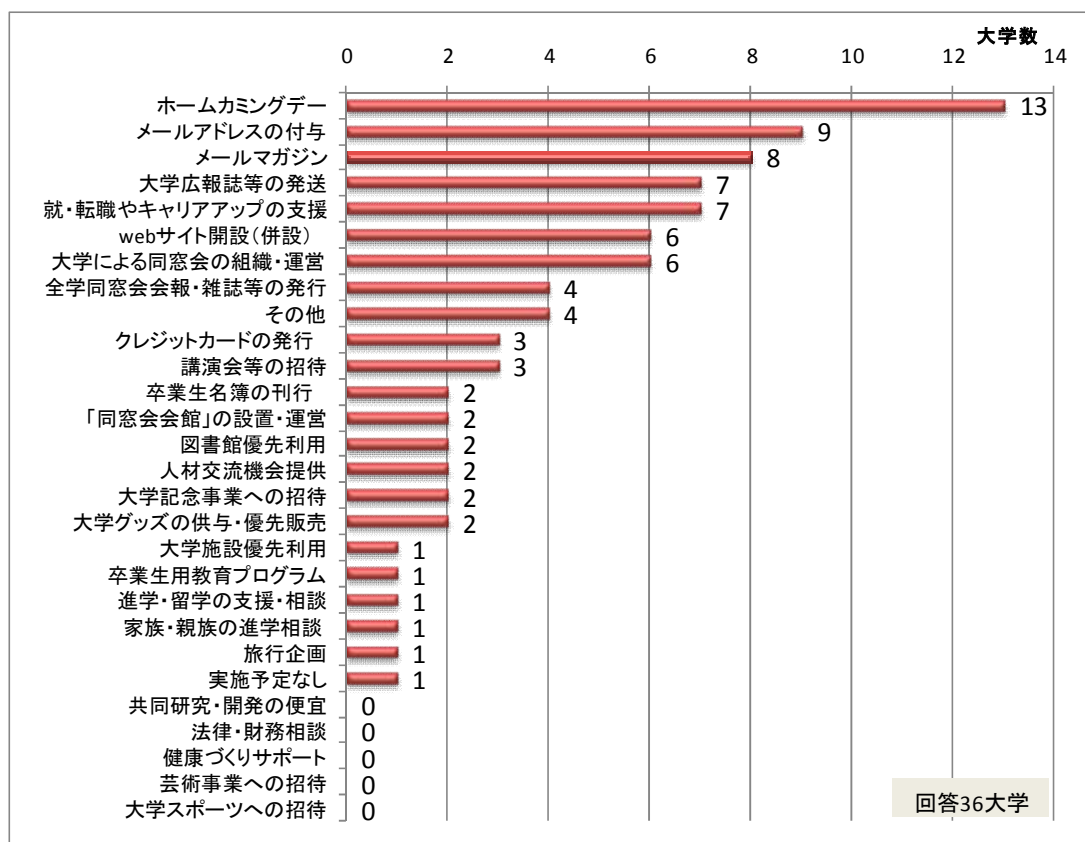
(地方総合大学)

中国上海地域において、初の外国人留学生の卒業生・修了生による同窓会組織を設立し、総会も開催。

(理科系単科大学) 卒業生から大学施設の見学希望があればコーディネートする。

※ 大学名の掲載及び事例紹介は、回答用紙に示された大学様の許可・ご意向に添いました。他の記載箇所でも同様です。

設問2 今後、予定されている「卒業生サービス」があれば教えてください（検討も含む）。（複数回答可）



★ 今後予定する「卒業生サービス」として「ホームカミングデー開催」の回答が多い。
(13 大学：回答比率 36%)

※ 国立大学においても、ホームカミングデーは「卒業生と大学の関係維持の場」、「卒業生同士の人的交流関係構築の機会」として重要視され、「年中行事」に位置づけられ定着しつつある。

★ 大学情報伝達手段として、「卒業生のための web ページ開設」が広まっている。
「メールアドレスの付与」も今後の対応検討課題として着目されている(9 大学：回答比率 25%)。

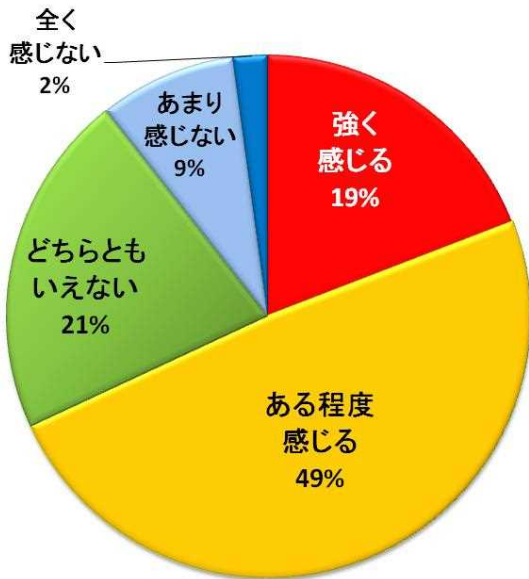
★ 回答数は多くないが、「クレジットカード発行の検討」、「卒業生用教育プログラムの実施」、「家族・親族の進学相談」、「旅行企画」といったサービスを検討しているという回答もあった。

※ 「その他」で示された回答には、「検討中」や「卒業生、修了生、在学学生、教職員間の相互ネットワーク構築」等があった。

「卒業生サービス」へのニーズ

設問3 「卒業生サービス」の実施について、卒業生からのニーズがあると感じになりますか。

回答 47 大学

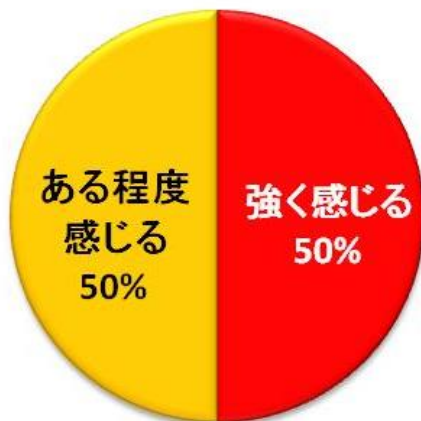


★ 「卒業生サービス」について、
回答大学の約7割が「ニーズを感じている」。

- ・「強く感じる」(9 大学：回答比率 19%)、
- ・「ある程度感じる」(23 大学：回答比率 49%)

★ 大規模総合大学では、回答8大学すべてが
「強く感じる」(4 大学：回答比率 50%)
もしくは
「ある程度感じる」(4 大学：回答比率 50%)

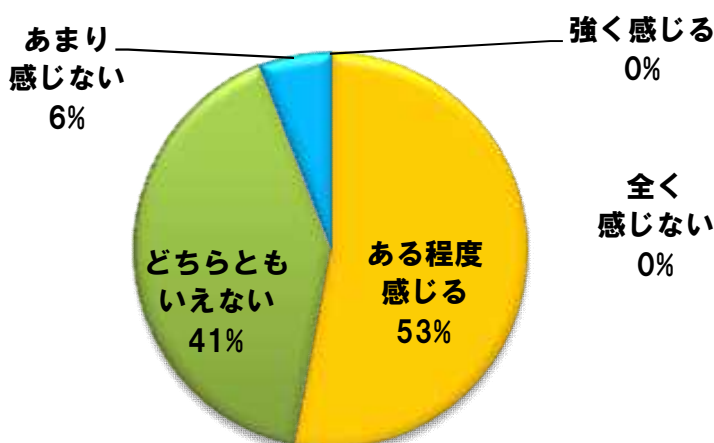
大規模総合大学



☞ 本報告でいう「大規模総合大学」とは、文部科学省による「財務分類Aグループ大学(学生収容定員1万人以上、学部等数概ね10学部以上の国立大学)」を該当させた。設問3では、「大規模総合大学」の該当回答として8大学あった。

※ 大規模大学の卒業生は大都市圏に居住する 경우가多く、そこには国公立の多様な大学が存在している。勤務先でも「競合他大学」出身者も多い。そうしたこともあって、大規模大学卒業生は他大学で展開する「卒業生サービス」に敏感であり、母校にも他大学と同様の「卒業生サービス」を要求するのであろうか。

地方総合大学



★ 地方総合大学の17回答にあっては、
「卒業生サービス」のニーズについて

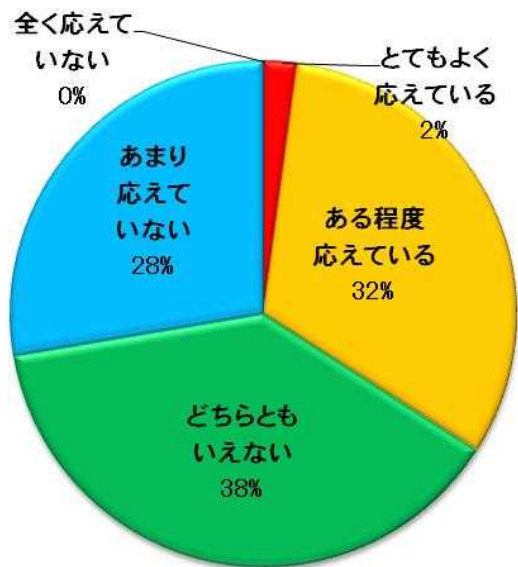
- ・「強く感じる」とする回答はゼロ。
- ・「全く感じない」の回答もゼロ。
- ・「どちらともいえない」の回答は7大学(回答比率 41%)

☞ 本報告で言う「地方総合大学」とは、前記「大規模総合大学」以外の大学で、文部科学省財務分類のG・Hグループに該当する大学であり(16頁参照)、そのうちさらに首都圏・名古屋圏・京阪神圏及び福岡圏以外に所在する総合大学を該当させた。設問3では、「地方総合大学」の該当回答として17大学あった。

「卒業生サービス」への対応実感

設問4 貴学の「卒業生サービス」は、卒業生からのニーズに応じているとお感じになりますか。

回答 47 大学

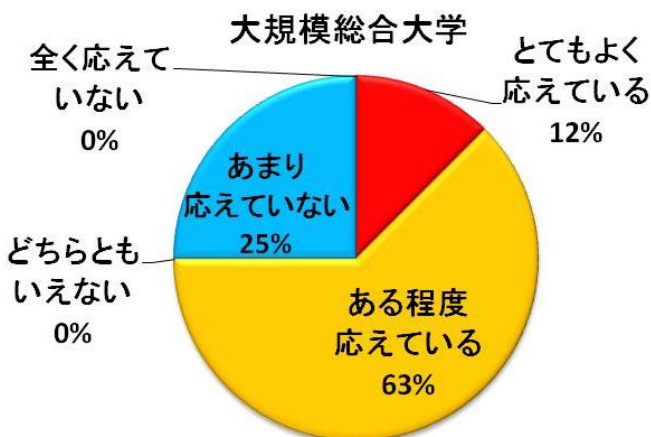


★「卒業生サービス」への対応実感として、「ニーズに応じている」群の回答は 16 大学 (回答比率 34%)
最も多かったのは「どちらともいえない」の回答 (18 大学：回答比率 38%)。

※ 「ニーズ」は感じているものの (設問3 回答)、それに十分対応できていないのが現状か。

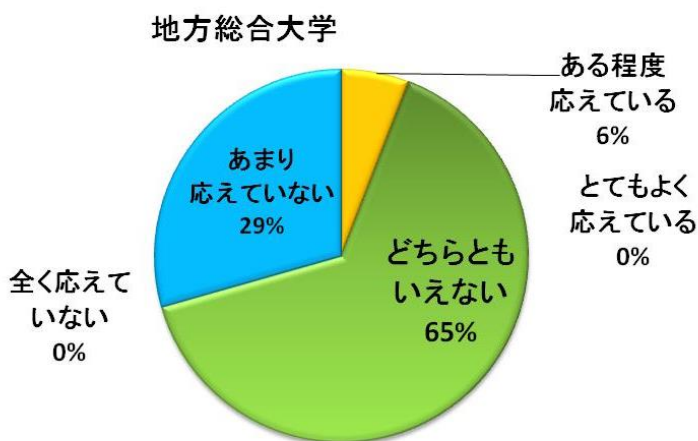


「卒業生サービス」の実施は、「大学戦略」として今後検討していく余地があるともいえる。



★ 大規模大学の回答 (8 大学) においては「応えている」群の回答率が高い。(6 大学：回答比率 75%)

・ 大規模総合大学では、第二期中期目標・中期計画においても「卒業生サービス」に関する積極的な記載が見いだせる。
引用：(神戸大学：第二期中期計画)
「学生及び保護者、卒業生をはじめとした多様なステークホルダーのニーズに応えた戦略的な広報活動を推進する。」



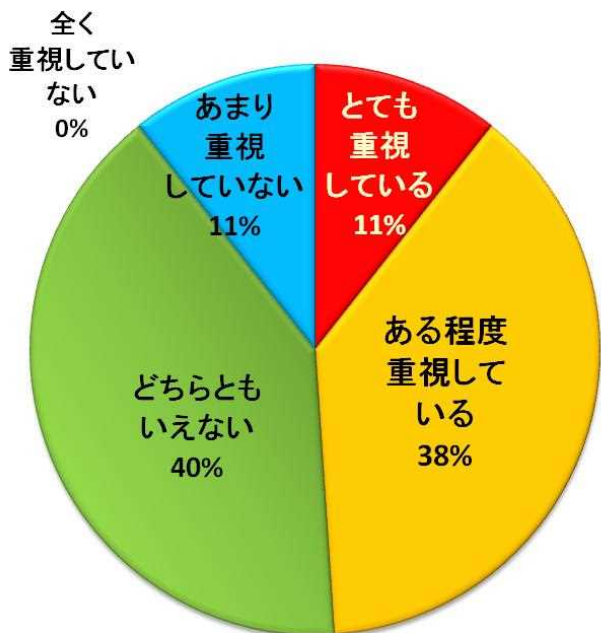
★ 地方総合大学における卒業生ニーズへの「対応実感」は、大規模総合大学に比べて弱い。
・「とてもよく応えている」の回答は 16 回答中ゼロ。
・「ある程度応えている」の回答も 16 回答中 1 大学のみ (回答比率 6%)

※ 大規模総合大学と地方総合大学の回答状況を比較すれば、「卒業生サービス」ニーズへの対応状況 (実感) について大きな違いがある。

「卒業生サービス」の重視実感

設問5 貴学では「卒業生サービス」の実施を重視しているとお感じになりますか。

回答 47 大学



★ 回答大学の約半数は「卒業生サービス」を重視している。

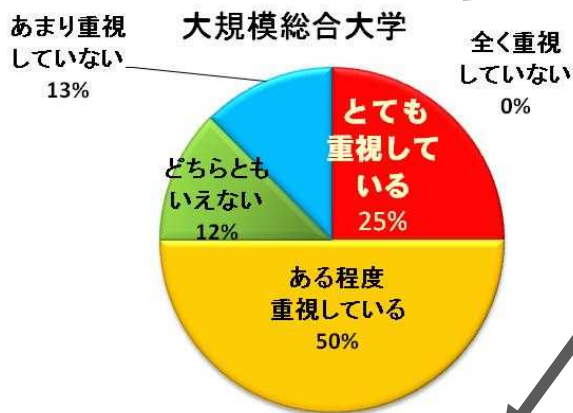
- ・「とても重視している」 (5大学:回答比率 11%)
- ・「ある程度重視している」 (18大学:回答比率 38%)

※国立大学でも「卒業生サービス」の重視が進んでいる。

※大規模総合大学と地方総合大学の回答を比べると、「卒業生サービス」に関する意識や実態の差が現れた。

★ 大規模総合大学では、回答 8 大学のうち 6 大学 (回答比率 75%) が「重視している」と回答。

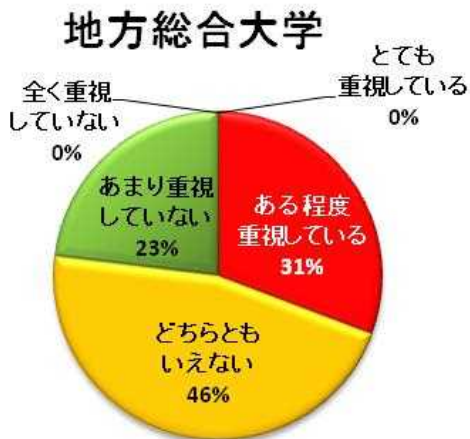
★ 地方総合大学をみると、「重視している」群の回答は 13 大学中 4 大学 (回答比率 31%)。「とても重視している」の回答はゼロ



参考：医学部を含む地方総合大学の回答

地方総合大学のうち、「医科系学部その他の学部で構成された国立大学 (16 頁参照)」に該当する全国 25 大学のうち、本アンケートに返答があった 11 大学の回答結果。

- ・「卒業生サービス」のニーズを感じると回答した割合は、該当大学群の回答にあって半数未満。
- ・「卒業生サービスを重視」という回答は 1/3 程度。
- ・該当大学の 45% は「ニーズにできていない」と回答。



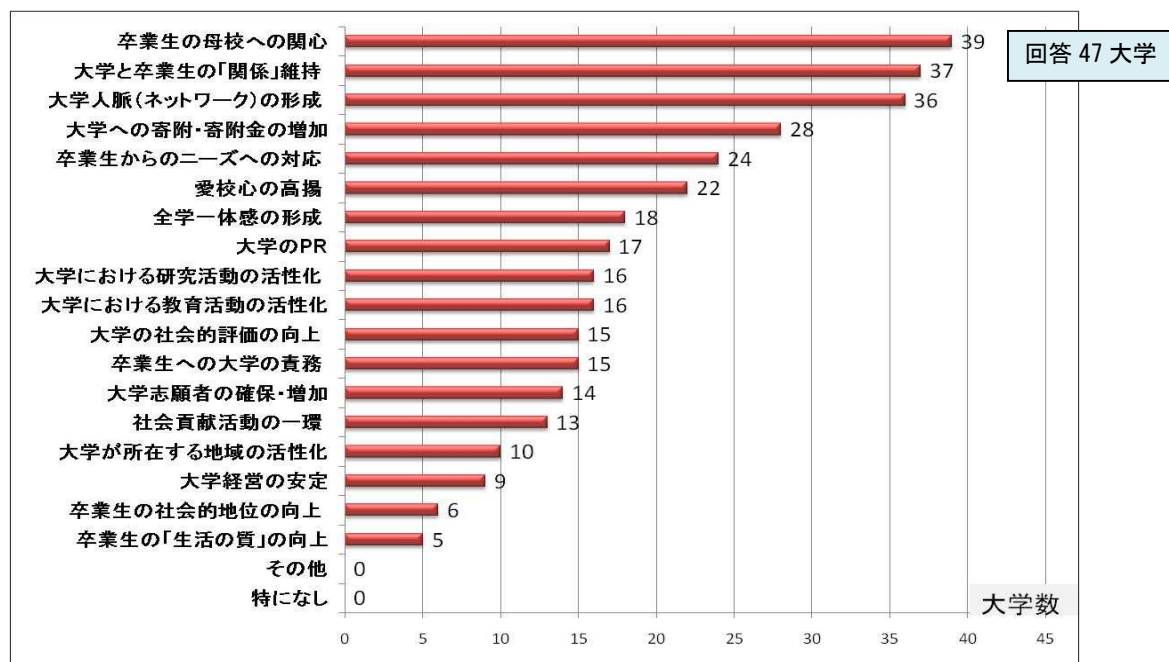
参考：医学部を含まない地方総合大学の回答

地方総合大学のうち、「医科系学部をもたない国立大学 (16 頁参照)」に該当する全国 9 大学のうち、本アンケートに返答があった 8 大学の回答結果。

- ・回答大学の 75% で「卒業生サービス」のニーズを感じている。
- ・「卒業生サービスを重視」を「重視している」群の回答は 43%。

「卒業生サービス」の実施目的

設問6 貴学における「卒業生サービス」の実施目的と考えられる事項は何でしょうか。(複数回答可)



★「卒業生サービス」の実施目的の上位回答

- ・「母校への関心を高める」 (39 大学:回答比率 83%)
- ・「大学と卒業生の関係維持」 (37 大学:回答比率 79%)
- ・「大学人脈(ネットワーク)の形成」(36 大学:回答比率 77%)

・・・「第二期中期計画」における記載 (「卒業生との連携強化」関連事項)・・・

- ・「大学校友会を中心とした校友へのサービスを通じて大学と卒業生の連携を強化する。」(大規模総合大学の記載)
- ・「校友会などの同窓会組織との連携を強化するとともに、大学への支援者の組織化を推進する。」(地方総合大学の記載)

★ 「卒業生サービス」の実施目的として、「寄附金の増加」を期待する回答も多い(28 大学、回答比率 60%)。

★ 「地域活性化に向けた卒業生(地域人材)の支援」について

「地域への貢献」という国立大学の責務を反映してか、「社会貢献活動の一環(13 大学:回答比率 28%)」、「大学が所在する地域の活性化(10 大学:回答比率 21%)」という回答もある。

※地方大学における今後の「卒業生サービス」の事業視点として、「地域人材である卒業生の支援」という設定も可能か。

★ 「卒業生サービス」の実施目的として、卒業生個人の「社会的地位の向上(6 大学:回答比率 13%)」や「生活の質の向上(5 大学:回答比率 11%)」という回答比率は低い。

※ 国立大学の「卒業生サービス」は、卒業生の視点(便益)よりも、大学側の視点(利益)で展開か。

☆ 修了者の便益享受に配慮した「卒業生サービス」を目的とする大学院大学もある。

・・・事例紹介・・・

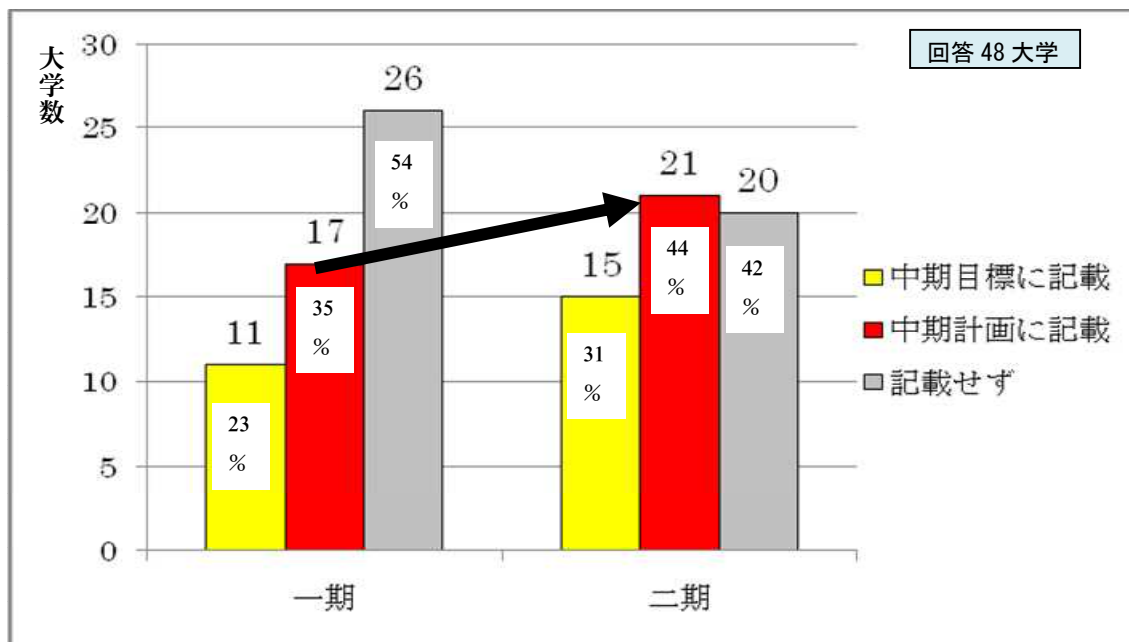
(政策研究大学院大学 第二期「中期計画」記載)

修了生がそれぞれの国・地域で、日本関連機関の主催事業などに参加・活動できるように、当該地域の在外の公的機関、関係国際機関から、情報を得られるようにするとともに、当該機関に対して本学修了生に関する情報を提供する。

中期目標・中期計画における「卒業生サービス」関連事項の記載

設問7 卒業生サービスの実施について、貴学の中期目標・中期計画に記載がありますか。(複数回答可)

★第二期中期目標・中期計画にあつて「卒業生サービス」に関する記載は増加の傾向



中期目標・中期計画に記載された「卒業生サービス」の内容例 (回答記述からの抽出)

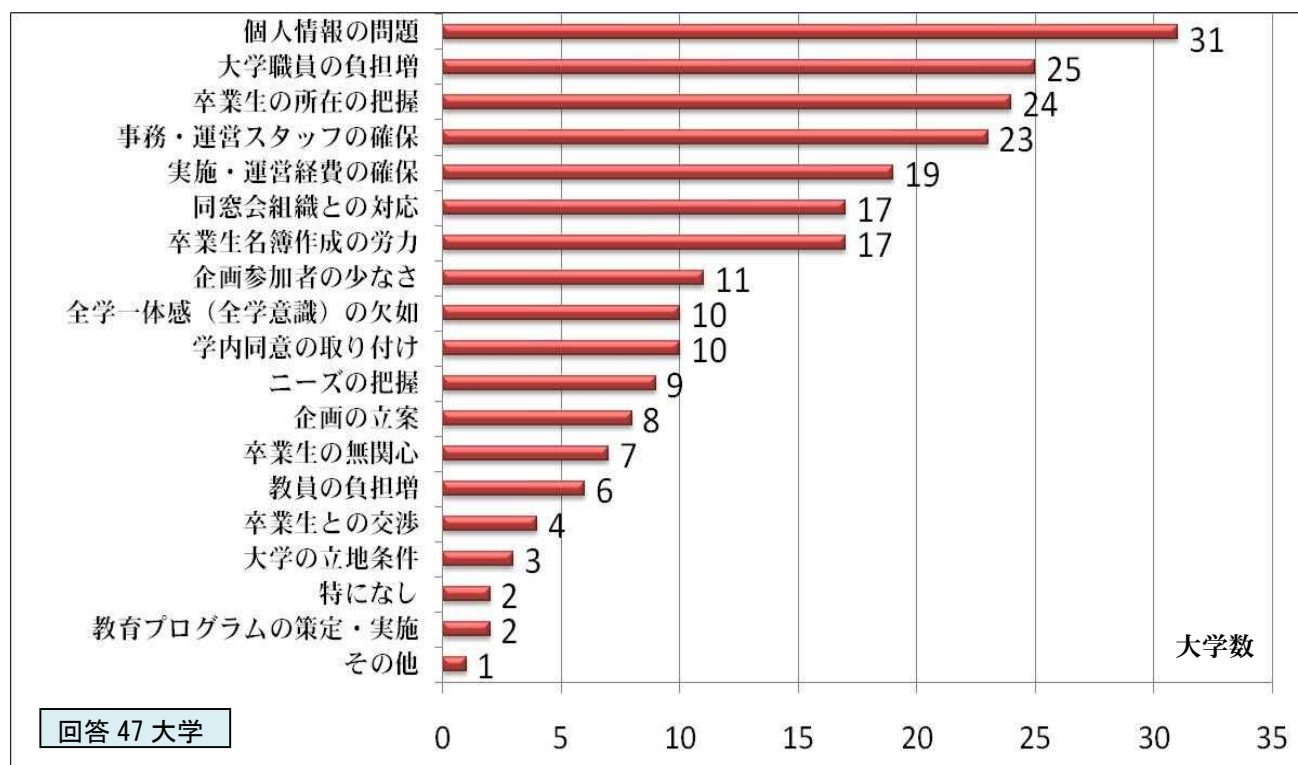
- ・同窓会活動の強化、支援
- ・ホームカミングデーの開催
- ・就職支援
- ・卒業生への情報提供の充実
- ・留学生卒業生・修了者の支援

・・・ 中期計画における「卒業生サービス」関連記載 (アンケート回答の自由記述引用も含む) ・・・

- ・卒前、卒後、専門、生涯教育を通じて医師、コ・メディカルの教育、研修を充実させ、国際的に通用する有能な医療人を育成する。(千葉大学)
- ・卒業生・修了生からのニーズに応じて、各種情報提供・相談等の支援を実施する。(教育系大学)
- ・校友会や同窓会と連携し、既卒者を含めたキャリア支援システムを創設する。(教育系大学)
- ・卒業・修了した留学生の組織化などの拠点を通して、教育研究の成果を世界に発信する。(地方総合大学)
- ・学生の学習・生活面のニーズの把握に努め、支援体制を向上する。また、卒業生・修了生に対する支援も充実させる。(地方総合大学)
- ・在学生、同窓会・卒業生、国際化を意識したコンテンツを充実し、適切な情報を提供する。
(地方総合大学)
- ・学生及び保護者、卒業生をはじめとした多様なステークホルダーのニーズに応えた戦略的な広報活動を推進する。(神戸大学)
- ・「既卒者に対する継続的な就職支援」を実施事業として掲げており、年度計画として実行していく。
(地方総合大学：自由記述)

「卒業生サービス」実施にあたっての対応課題・問題点

設問8 「卒業生サービス」を実施するにあたって労力を要した課題、もしくは問題点について、下記に該当する項目があれば、その番号を○で囲んで下さい。(複数回答可)



「卒業生サービス」の実施にあたっての主要課題（上位回答）

- ・「個人情報の問題」（31 大学：回答比率 66%）
- ・「卒業生の所在の把握」（24 大学：回答比率 51%）

※ 「メールアドレスの付与」はその対応策でもある（設問1 参照）。

★ 実施上の課題として「スタッフや運営経費の確保」、「諸事業に関わる労力」も多く回答される。

※ 大学は「卒業生サービス」を重視しながらも、そのための「コスト対応」は十分に至っていない。

★ 「学内同意の取り付け（10 大学：回答比率 21%）」、「全学一体感の欠如（10 大学：回答比率 21%）」、「卒業生の無関心（7 大学：回答比率 15%）」、「大学の立地（3 大学：回答比率 6%）」

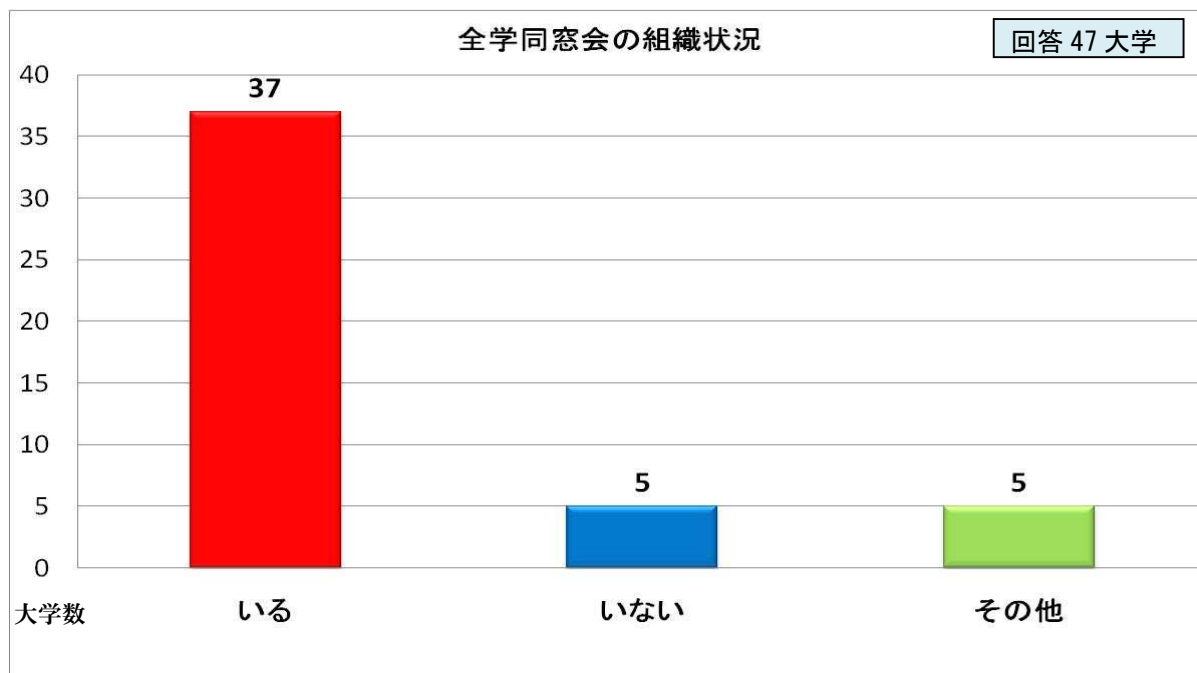
などの回答は「国立大学ならではの」課題か。

・・・アンケート回答からの事例引用・・・

(横浜国立大学)：「卒業生サービス」について私学並みの対応を求められることもある。財政的・人的に厳しい国立大学として可能な範囲でやっていることの理解を求めている。

Ⅱ 「同窓会（校友会）」の設置について

設問 9 貴学では、全学（大学）単位での「同窓会（校友会等）」が組織されていますか。



★ 回答のあった国立大学の約 8 割 (37 大学: 回答比率 79%) で 全学単位の「同窓会 (校友会等)」を組織。

★ 「新制大学発足 (大学設立) 50 周年 (1999 年)」や、法人化後に迎えた「大学設立 60 周年 (2009 年)」を契機にして「全学同窓会」が組織されたケースもみられる。

※ 「その他」の回答として、「現在休止中」、「組織の見直しを実施中」、「大学支援組織としての校友会はあるが、同窓会組織ではない (同窓会は各学部で設置)」など。

..... アンケート回答からの事例引用

【全学同窓会の設置】

全学同窓会は、平成 17 年 10 月 8 日に創設され、全学同窓会支援室は平成 21 年 4 月 1 日に設置され、具体的な活動を開始した。今後の全学同窓会の強固な組織化を図っていきたい。(地方総合大学)

【全学同窓会設置に向けた取り組み】

将来的には同窓会の連合体が結成されることを視野に入れ、各学部等の同窓会との共催により、平成 17 年度から「大学所在県」地区、関東地区、関西地区、九州山口地区で、大学と各同窓会・同窓生との交流会を実施してきたが、未だ全学同窓会組織はできていない。(地方総合大学)

【全学同窓会未設置】

本学には全学単位での同窓会が組織されておらず、各同窓会が独自に活動している。各同窓会と本学との連絡協議会を毎年複数回開催しているが、全学同窓会設置の検討はなかなか進まないのが現状である。(地方総合大学)

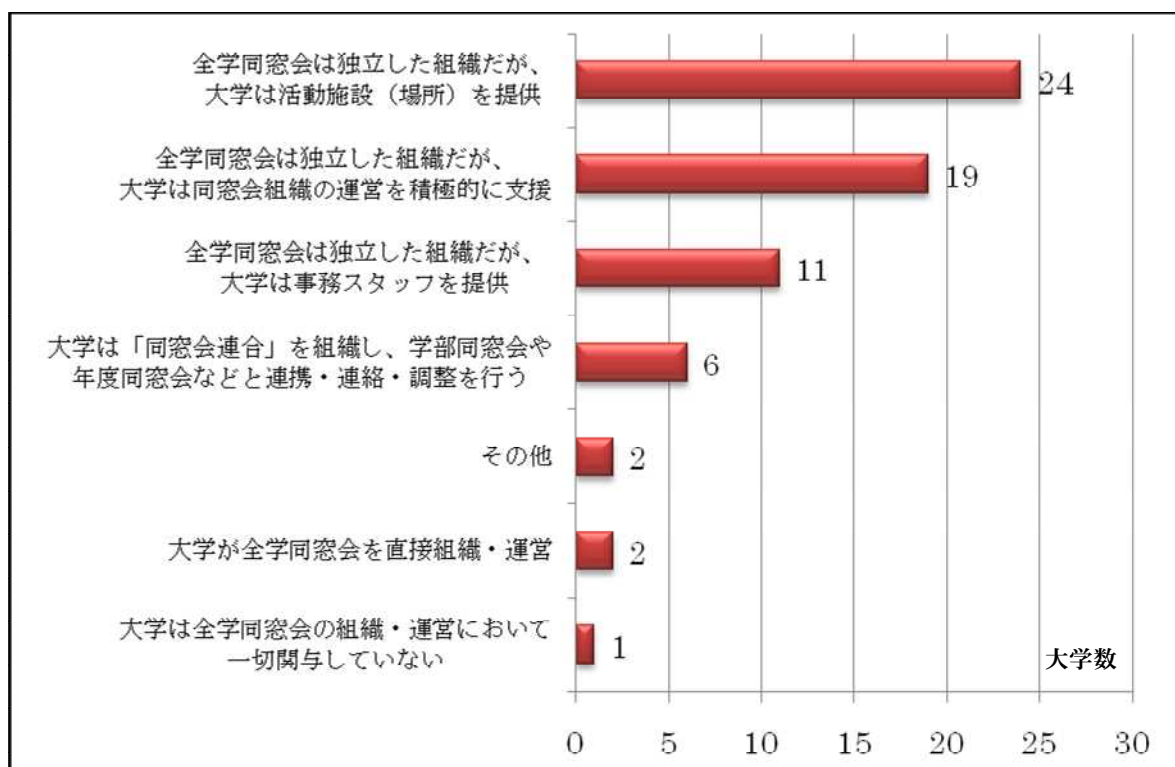
大学と全学同窓会との関係

設問 10 上記で「① いる」とお答えの大学様におたずねします。

「大学（法人）」は「その組織（「全学同窓会」等）」とどう関わっていらっしゃいますか。
下記に該当する事項があれば教えてください。（複数回答可）

また、大学で「全学同窓会」等に係わる業務を担当する部署があれば教えて下さい。

回答 39 大学



- ★ 「全学同窓会」は、大学とは別の「独立組織」である場合が多い。
- ★ 大学は「全学同窓会」に対し、「活動場所・施設の提供」、「スタッフ等の派遣」などによって支援することが多い。
- ★ 「全学同窓会」は、各同窓会間（学部同窓会、年度同窓会、部活動 OB 会など）との連絡調整の役割を託されている場合が多い。（設問 12 も参照）

※ 全学同窓会を所轄する大学部署は、「総務関係部署（総務部総務課、総務部総務グループ、総務部総務企画課など）」が多い。この他の管轄部署としては、「広報」部署、「基金」関係部署、「地域連携」部署、「同窓会・交友」関係部署など多様。

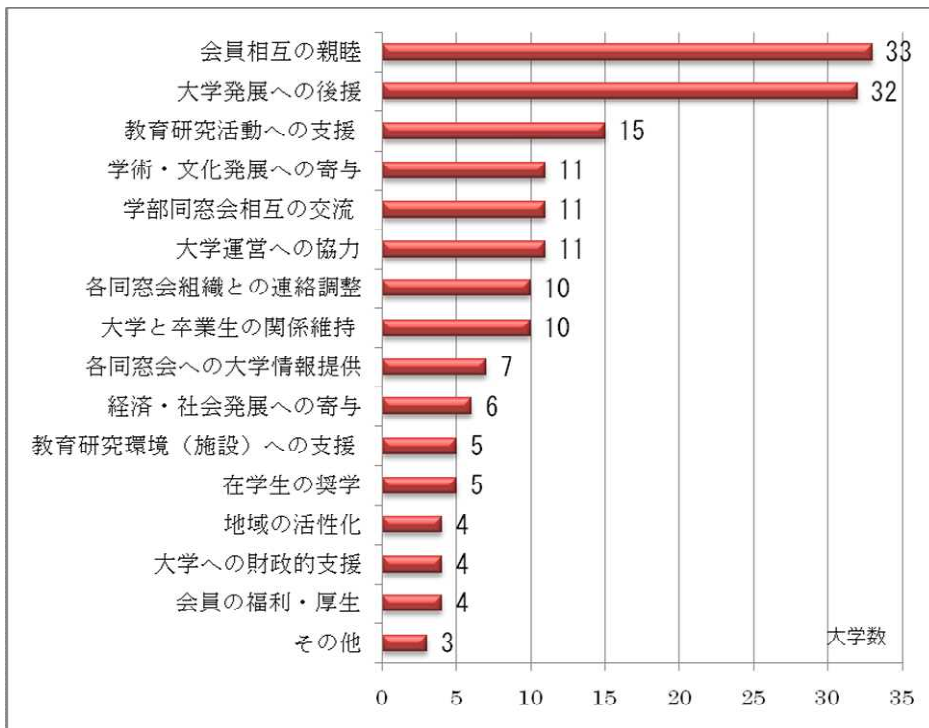
「全学同窓会」管轄部署例

「企画調査課」、「企画広報課」、「広報・渉外課」、「基金室」、「基金企画チーム」、「地域連携課」、「社会連携推進課」、「全学同窓会支援室」、「国際交流・広報課同窓会室」、「企画課同窓会事務局」、「エンロールマネジメント室」など

全学同窓会の事業目的

設問 11 前記設問 9 で「① いる」とお答えの大学様におたずねします。
 貴学「全学同窓会」の事業目的について「定款」や「会則」等の規程において、以下の項目に該当するもの（同様の内容）が示されていれば、それを教えてください。（複数回答可）

回答 40 大学



★ 「全学同窓会」の事業目的として、「定款」や「会則」等に規定している事項には
 「会員相互の親睦(33 大学:回答比率 83%)」、「大学発展への後援(32 大学:回答比率 80%)」
 が多い。

※ アンケートの回答内容（自由記述記載等）をふまえれば、国立大学における「全学同窓会」は、「大学への後援拠点・母体」、「既存の同窓会組織の連絡・調整組織」として位置づけられている場合が多かった。

※ 複数の大学のアンケート回答において、「全学同窓会の組織化や全学同窓会を基盤とした卒業生サービス事業については、卒業生の全学的後援を導く「呼び水」として今後さらに進められる予定」と記述されていた。

..... 「定款」・「会則」等に示された「全学同窓会」の事業目的（事例紹介）.....

① 「医学の進歩に寄与、在学生の活動支援」（滋賀医科大学）

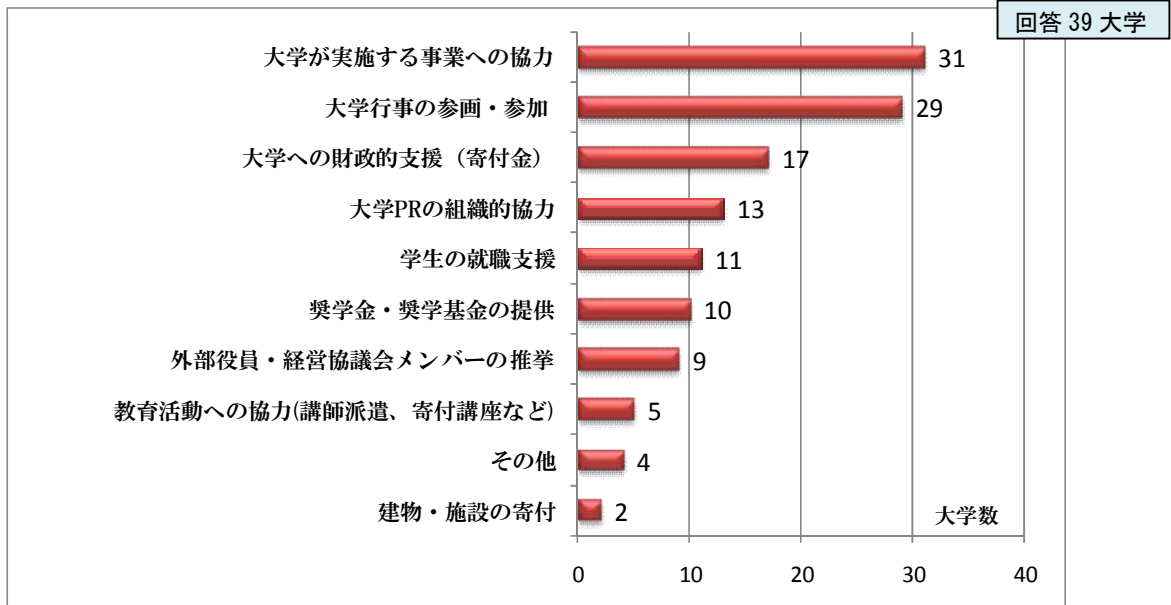
※ 医科系単科大学では「同窓会」の事業目的として、卒業生・修了者の医療知識や技術の向上、人的ネットワークの形成等への貢献を含め、医学界（会）への貢献をあげる場合があった。地域の医学・医療、医療人材育成にとって医学部・医科大学の「同窓会」は重要な役割を果たしている。

② 「学術、文化、教育の進展及び女性の社会的活躍に寄与し、合わせて会員相互の啓発互助を図ることを目的とする。」（お茶の水女子大学）

※ 学術文化への貢献や女性の社会的地位向上に向けた拠点であることも設置目的に含む「同窓会」。

全学同窓会の具体的寄与

設問 12 前記設問9で「① いる」とお答えの大学様におたずねします。これまで「全学同窓会」による「貴学への寄与」が具体的にあれば、それを教えてください。(複数回答可)



- ★ 全学同窓会組織の「具体的寄与」として、大学事業や行事への協力・参加の回答が多い。
- ★ 大学への財政的支援 (寄附金) も行われている (17 大学 : 回答比率 44%)。

「その他」の回答としては、以下の記載があった。

- ・ 学生のサークル活動に対する財政支援 (教育系単科大学)
- ・ 大学基金への支援 (神戸大学) 、
- ・ ホームカミングデーを大学と全学同窓会が共催 (地方総合大学)

.....「同窓会の寄与」に関する自由記述回答から.....

卒業・修了生に授業(「現代社会の変容とキャリア形成」「キャリアデザイン」など)講師、就職(教員採用試験を含む)支援、及び現役学生との交流を深める企画に積極的に参画していただいている。

卒業・修了生は、社会において相応の地位や名誉を得ており、豊かな社会経験を若い世代に語り継ぐという機会を提供しているとともに、母校及び在学生との絆の形成として寄与している。(地方総合大学)

同窓会からの不満 (自由記述回答から)

同窓会は、これまで大学にさまざまな支援をしてきたが、「大学は同窓会に対して何ら支援をしていない」との不満を持っている。(地方総合大学)

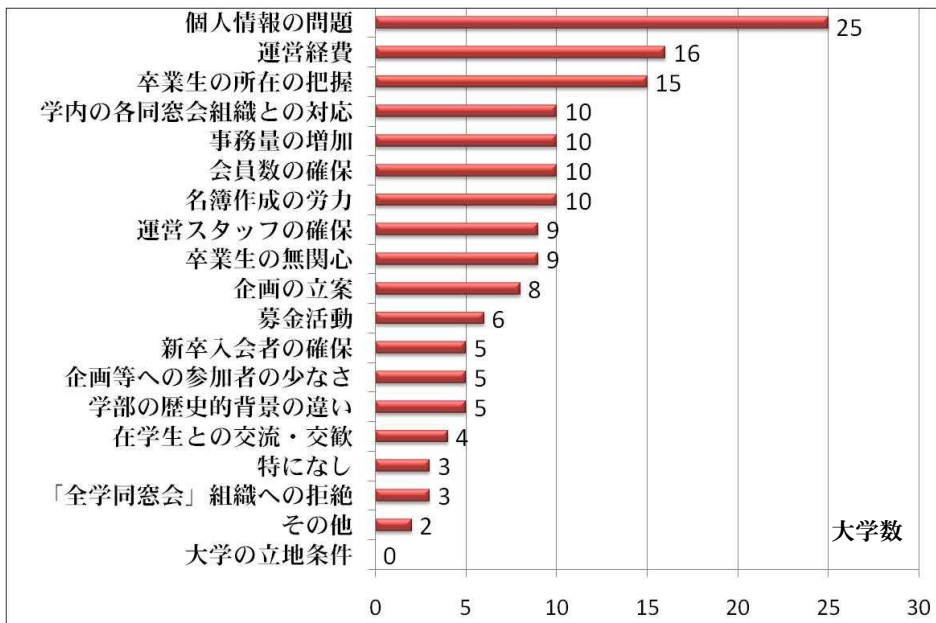
※ 大学は同窓会や卒業生からは、諸々の支援を求めるようになったが、それに対する卒業生への「見返り(メリット・便宜)」の提供については看過しがちである。

大学に対して「give and give」の同窓会。 同窓会・卒業生から「take and take」の国立大学

※ 卒業生からの「大学後援」を求めるならば、大学も卒業生に対する「支援(便宜提供)」が必要か。

全学同窓会の設置・運営上の課題

設問 13 前記設問9で「① いる」とお答えの大学様におたずねします。
 大学が「全学同窓会組織」の運営に関与・協力するにあたり、労力を要している課題、もしくは問題点（課題）として下記に該当する項目があれば、その番号を○で囲んで下さい。（複数回答可）



回答 38 大学

★ 「個人情報 の問題」(25 大学:回答比率 66%)、「卒業生の所在の把握」(15 大学:回答比率 39%) が「全学同窓会組織」運営上の重要課題となっている。

.....アンケート自由記述回答から.....
 本学は卒業生とのネットワーク構築に重きを置いている。このため、住所等情報の収集に努めているが、これらの情報は、ここ 10 年ほど前からは大学で保有するようになったものの、これ以前の情報は各学部等の同窓会が持っている。そこで、各同窓会に住所等の提供を申し出ているが、卒業生名簿は同窓会が保有する個人情報であることや、同窓会が長年苦勞して集めた情報であることから大学への提供を拒否されている。住所等情報入手が今後の課題となっている。(地方総合大学)

★ 「運営経費」(16 大学:42%)、「名簿作成の労力」(10 大学:回答比率 26%)、「運営スタッフの確保」(9 大学:回答比率 24%)などのコストや人的労力などの実務的な課題も回答にあがる。

★「学内各同窓会組織との対応」(10 大学:回答比率 26%)、「卒業生の無関心」(9 大学:回答比率 24%) 「学部の歴史的背景の違い」(5 大学:回答比率 13%)などの回答は国立大学特有の課題といえようか。

.....アンケート自由記述回答から.....
 本学は全学の同窓会連合会を設置しているものの学部等同窓会の協力が十分に得られていない。その原因は、全学の同窓会連合会が活発に活動すれば学部の同窓会の存在意義が薄れ、衰退する(無くなる)、との不安を持っていることと、これまで大学にさまざまな支援をしてきたが、大学は同窓会に対して何ら支援をしない、との不満を持っていることによる。このようなことから、各学部等同窓会に対する支援策の一つとして、学内で同窓会が使用している事務室等のスペースを有料貸付けしているのを改め、借料軽減又は無償貸付けすることを検討したが、他の国立大学では無償・軽減の前例がないことから、実現には至っていないところである。(地方総合大学)

大学類型別にみた「卒業生サービス」実施状況のポイント整理

★ 大学類型分類は、文部科学省 高等教育局 高等教育企画課による国立大学分類による。

大規模大学 (A グループ)

(学生収容定員 1 万人以上、学部等数が概ね 10 学部以上の国立大学)

(該当 13 大学のうち、本アンケートへの回答があったのは 8 大学)

- ・ 回答大学中 88%が「ホームカミングデー」を開催、63%が「キャリアアップ支援」を実施。
- ・ 今後の計画として、卒業生を対象とした「大学情報」広報の発行を予定している大学が多い。
- ・ 回答全大学が「卒業生サービス」のニーズを感じている。そのうち 50%が「強く感じている」。
- ・ 回答大学の 75%が「卒業生サービス」に対するニーズに「応えている」と感じている。
- ・ 回答大学の 75%が、「卒業生サービスを重視している」と感じている。
- ・ 「卒業生サービス」の実施目的として、「愛校心の高揚」や「卒業生への責務」を回答した比率が他グループより高い。
- ・ 回答全大学で、第 2 期中期目標または中期計画に「卒業生サービス」に関する記載がある。
 - (「卒業生サービス」は大学が果たすべき機能として認知・定着か?)
- ・ 「卒業生サービス」実施にあたり、回答全大学が「個人情報」の取り扱いに関わる課題を感じている。
- ・ 回答大学の 75%で、独立組織である「全学同窓会」に大学スタッフを提供している。
- ・ 全学同窓会運営への関与において、「企画立案」、「運営スタッフ確保」等多くの課題を感じている。
 - (むしろ、実質的に運営参画していることによって課題が顕在化しているのか?)

理工系中心大学 (B グループ)

(医科系学部を有さず、学生収容定員に占める理工系学生数が文科系学生数の概ね 2 倍を上回る国立大学)

(該当 13 大学のうち、本アンケートへの回答があったのは 6 大学)

- ・ 「ホームカミングデー」、「キャリアアップ支援」は、この類型の回答全大学において実施していない。
- ・ 回答大学の 60%で、今後予定する「卒業生サービス」として卒業生へのメールアドレス付与を計画。
- ・ 回答大学の約 70%で「卒業生サービス」のニーズを感じているが、回答大学の 50%は「ニーズに応えていない」と実感。
- ・ この類型の回答全大学では、「卒業生サービス」実施にあたり「個人情報」、「全学一体感の欠如」、「同窓会組織との対応」等の「苦勞」が少ない(「実施上の課題」としての回答比率が低い)。
 - (→前身校同窓会が「大学同窓会」として継続しており、また理科系単科大学として全学一体感の強さもあるのか?)
- ・ 「全学同窓会」運営においても「個人情報」(卒業生所在把握)を「課題」とした回答は少ない。

下記 2 類型については、サンプル数が少ないため回答特性の記載は省略いたします。

文科系中心大学 (C グループ)

(医科系学部を有さず、学生収容定員に占める文科系学生数が理工系学生数の概ね 2 倍を上回る大学)

(該当 7 大学のうち、本アンケートへの回答があったのは 3 大学)

医科大学 (D グループ)

(医科系学部のみで構成される国立大学)

(該当 4 大学のうち、本アンケートへの回答があったのは 1 大学)

教育大学 (E グループ)

(教育系学部のみで構成される国立大学)

(該当 11 大学のうち、本アンケートへの回答があったのは 7 大学)

- ・「卒業生サービス」として図書館の有効利用とキャリアアップ支援を実施するが多い。
- ・「教職者としての資質向上のためのキャリアアップ支援」を今後計画する大学が多い。
- ・「卒業生のニーズに応じている」と実感する大学は 30% 程度。
- ・「スタッフ確保」、「職員負担」等での課題は少ないが、卒業生ニーズの把握を課題とする場合が多い。
- ・全学同窓会運営について、「卒業生の所在確認」、「名簿作成」、「会員数の確保」などに関しては、これを課題とする回答比率が他の類型大学よりも高い。

大学院大学 (F グループ)

(大学院のみで構成される国立大学)

(該当 4 大学のうち、本アンケートへの回答があったのは 3 大学)

- ・「メールアドレス付与」を主として「卒業生サービス」を実施。
- ・今後、メールマガジンの配信を計画する大学も多い。
- ・回答全大学で、「卒業生サービス」へのニーズを感じている。
- ・「卒業生サービス」に関し、中期目標または中期計画に回答全大学が「第一期」から継続記載。
- ・「経費確保」、「同窓会組織との対応」、「全学一体感」の課題は少ないが、「卒業生名簿作成」は課題とする。
- ・全学同窓会を組織していない大学が 2/3。(ただし、海外留学生やその修了者も含めたネットワーク作りに力を入れる)

医学部を含む大学 (G グループ)

(医科系学部その他の学部で構成され、A~F グループ のいずれにも属さない国立大学)

(該当 25 大学のうち、本アンケートへの回答があったのは 11 大学)

- ・「卒業生サービス」としてホームカミングデーの開催、大学による同窓会の組織・運営を計画。
- ・「卒業生サービス」のニーズを感じている割合が回答大学の半数未満。また、回答大学の 45% は「ニーズに応じていない」と実感。「卒業生サービス」を重視していると感じる回答大学は 1/3 程度。
- ・「卒業生サービス」実施課題として「学内同意」を回答する比率が高い。
- ・「定款」や「規程」に示された全学同窓会事業の目的として、回答大学の半数以上が「学部同窓会の相互交流」を掲げる。

医学部を含まない大学 (H グループ)

(医科系学部を有さず、A~F グループ のいずれにも属さない国立大学)

(該当 9 大学のうち、本アンケートへの回答があったのは 8 大学)

- ・「卒業生サービス」として、ホームカミングデー、キャリアアップ支援、記念行事招待を実施。
- ・回答大学の 75% が「卒業生サービス」のニーズを感じている。重視しているのは 43%。
- ・全学同窓会の事業目的として「学術・文化発展への寄与」を「定款」や「規程」に掲げる大学が 63%。

・・・・・・・・以上・・・・・・・・

ご回答に協力いただいた大学さま (48 国立大学)

室蘭工業大学, 小樽商科大学, 帯広畜産大学, 北見工業大学, 岩手大学, 東北大学, 宮城教育大学, 山形大学, 福島大学, 茨城大学, 群馬大学, 宇都宮大学, 埼玉大学, 千葉大学, 東京学芸大学, お茶の水女子大学, 横浜国立大学, 新潟大学, 長岡技術科学大学, 上越教育大学, 福井大学, 信州大学, 岐阜大学, 静岡大学, 名古屋大学, 豊橋技術科学大学, 三重大学, 滋賀大学, 滋賀医科大学, 京都大学, 京都教育大学, 大阪教育大学, 兵庫教育大学, 神戸大学, 奈良女子大学, 島根大学, 岡山大学, 広島大学, 鳴門教育大学, 香川大学, 愛媛大学, 高知大学, 九州工業大学, 長崎大学, 熊本大学, 大分大学, 政策研究大学院大学, 総合研究大学院大学, 奈良先端科学技術大学院大学 (以上)